

令和8年度 和田唐池浸透施設等清掃業務委託

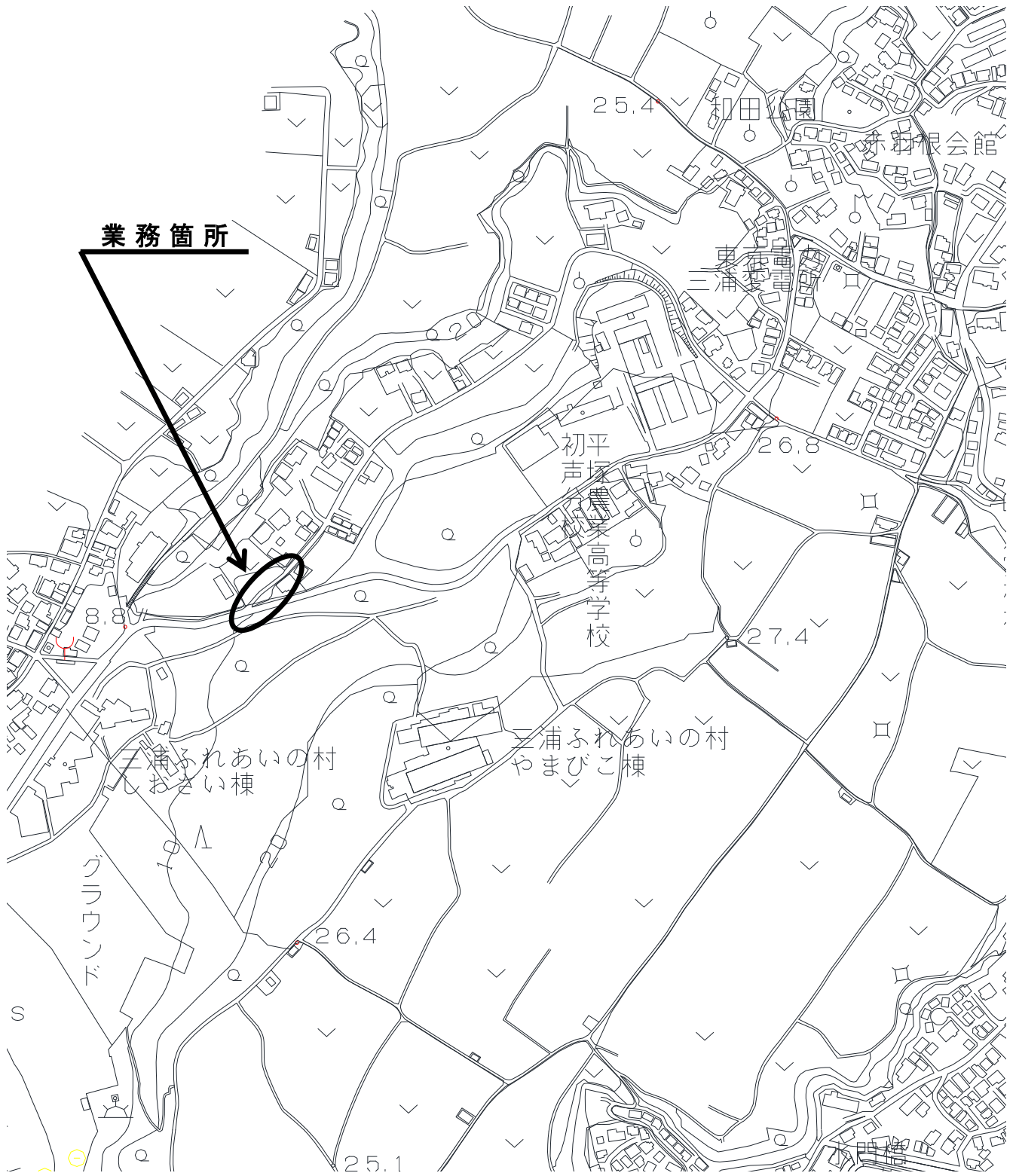
業 務 設 計 書

三浦市役所

都市環境部 土木課

令和8年度 和田唐池浸透施設等清掃業務委託

【 位置図 】



令和 08 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)

設 計 書 番 号	年度 08	
事 業 所 名	三浦市	
(工 事 ・ 業 務) 名	令和8年度 和田唐池浸透施設等清掃業務委託	
(工 事 ・ 業 務) 箇 所	三浦市初声町和田地内	
(河 川 ・ 路 線 ・ 区 域) 名	和田唐池水路	
単 価 採 用 地 区 名	横須賀	
事 業 区 分		
工 期		
設 計 金 額	(円)	
	円	
設 計 概 要	浸透施設等清掃 1式 浸透柵清掃工 N=5個 ポラコン井戸清掃工 N=3個 管渠清掃工 L=28m 側溝清掃工 L=69m 浚渫土処分工 V=50t	
(起 工 ・ 変 更) 理 由		

令和 08 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)

<支出科目>

款	
項	
目	
目の細目	
節	

<合併区分情報>

合併処理設定	しない
	区 分 1
	区 分 2
	区 分 3
	区 分 4
	区 分 5
	区 分 6
	区 分 7
	区 分 8
	区 分 9

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1) 前回変更請負額(b2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 08 年度 積算諸条件調書 (当初)

経費等情報	主たる工種	河川維持工事		
	施工地域・工事場所区分	一般交通影響有(2)		
	現場環境改善費計上区分	計上しない		
	緊急工事による補正	補正しない		
	前払金支出割合	補正しない		
	契約保証の方法	補正なし		
	間接工事費率補正 (上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合)			
	共通仮設費率補正	0.00%		
	現場管理費率補正	0.00%		
	一般管理費率補正	0.00%		
	間接労務費・工場管理費計上区分	計上しない		
	土木工事標準積算基準書 適用年版	令和07年7月1日適用		
	土木工事資材等単価表 適用年版	令和8年5月1日基準		
	週休割増補正区分	補正しない		
	ICT施工補正区分	補正しない		
積算数量等情報	名称	採用数量	単位	備考
	交通誘導警備員B	9	人日	

(その他情報欄)

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費							
河川維持			1	式			
河川維持			1	式			
準備工			1	式			第 0001 号 内訳書
仮設工			1	式			第 0002 号 内訳書
清掃工			1	式			第 0003 号 内訳書
直接工事費計			1	式			
共通仮設費計			1	式			
共通仮設費（率分）			1	式			【千円止】
純工事費			1	式			
現場管理費			1	式			【千円止】
工事原価			1	式			
一般管理費等			1	式			

第0001号 内訳書
準備工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 準備工	1	式			第0001号下内
合 計					

第0002号 内訳書
仮設工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0020) 交通誘導警備員	1	式			第0002号下内
合 計					

第0003号 内訳書
清掃工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0030) 排水工	1	式			第0003号下内
(AMA0040) 浸透枮清掃工	1	式			第0004号下内
(AMA0050) ポリコン井戸清掃工	1	式			第0005号下内
(AMA0060) 管渠清掃工	1	式			第0006号下内
(AMA0070) 側溝清掃工	1	式			第0007号下内
(AMA0080) 浚渫土処分工	1	式			第0008号下内
合 計					

第0001号 下位内訳書
AMA0010 準備工

1 式 当り
適用年版 T0805
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB252620) 土のう積工	1	m2			第0001号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0002号 下位内訳書
AMA0020 交通誘導警備員

1 式 当り
適用年版 T0805
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB010212) 交通誘導警備員B		人日			第0002号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0003号 下位内訳書
AMA0030 排水工

1 式 当り
適用年版 T0805
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 散水車運転 3800L 3台		日			第0003号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0004号 下位内訳書
AMA0040 浸透枿清掃工

1 式 当り
適用年版 T0805
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB433610) 集水枿清掃工(単独作業)	5	個			第0005号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0005号 下位内訳書
AMA0050 ボラコン井戸清掃工

1 式 当り
適用年版 T0805
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB433610) 集水枿清掃工(単独作業)	3	個			第0007号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0006号 下位内訳書
AMA0060 管渠清掃工

1 式 当り
適用年版 T0805
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0020) 管渠清掃 (機械清掃工) 清掃作業 ボックスカルバート1400×1000	15	m			第0008号単価表
(SJ0030) 管渠清掃 (機械清掃工) 清掃作業 ボックスカルバート1200×1200	6	m			第0010号単価表
(SJ0040) 管渠清掃 (機械清掃工) 清掃作業 ボックスカルバート600×600	7	m			第0011号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0007号 下位内訳書
AMA0070 側溝清掃工

1 式 当り
適用年版 T0805
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0050) 側溝清掃 (機械清掃工) 清掃作業 柵渠1400×1000	20	m			第0012号単価表
(SJ0060) 側溝清掃 (機械清掃工) 清掃作業 柵渠1400～800×800	3	m			第0013号単価表
(SJ0070) 側溝清掃 (機械清掃工) 清掃作業 柵渠800×800	36	m			第0014号単価表
(WB433410) 側溝清掃(単独作業) 清掃作業	10	m			第0015号単価表
(WB433430) 側溝蓋撤去・設置	17	枚			第0017号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0008号 下位内訳書
AMA0080 浚渫土処分工

1 式 当り
適用年版 T0805
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0010) 混合汚泥処分費 建設汚泥	50	t			
合 計					
	1	式			円/式

第0001号 単価表
WB252620 土のう積工

10 m2 当り
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y001613000) -00001 再生クラッシャーラン RC-40	3.4	m3			[1]
(Z006082001) 土のう 62×48cm	170	枚			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 作業区分	1	小口並べ			
J02 作業内容	1	仕拵・積立・撤去			

第0002号 単価表
WB010212 交通誘導警備員B

1 人日 当り
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0804) 交通誘導警備員B		人			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	人日			円/人日

第0003号 単価表
 SJ0010 散水車運転
 3800L 3台

1 日 当り
 適用年版 T0805
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(K1108007) 散水車[トラック架装型]3800L	16.5	時間			第0004号単価表
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	日			整数止め切捨て 円/日

第0004号 単価表
K1108007 散水車[トラック架装型]3800L

1 時間 当り
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0115) 運転手(一般)		人			
(Z006702002) 軽油		L			
(M001108007) 散水車[トラック架装型] 3800L		時間	【損料】		
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	時間			円/時間
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 機械使用条件コード	0		0		
J02 岩石割増しコード	1		岩石工の割増対象にしない		
J03 機械損耗部品補正	1		普通		
J04 供用日当り運転時間	0		0 時間		
J05 交替制による割増し	1		交替制を適用しない		
J06 異常補正	0		0		
J07 基礎価格補正	1		しない		
J08 輸送補正	1		しない		
J09 運転日当り運転時間	0		0 時間		

第0005号 単価表
WB433610 集水桝清掃工(単独作業)

1,000 個 当り
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(WK430600) 側溝清掃車(フワ式)運転		時間			第0006号単価表 [1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ [1] * 0.02	1	式			
合 計					
	1	個			円/個
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 側溝清掃車1個当り運転時間(実数)	0.03		0.03 h/個		
J02 側溝清掃車機種	1		フワ式ホッパ容量4.5~5.0m3		
J04 側溝清掃車燃料消費量(実数)			L		
J05 機械使用区分	1		持込		
J06 機械供用日当り運転時間(t)	1		標準		
J07 機械供用日当り運転時間(t)(実数)			時間		

第0006号 単価表
 WK430600 側溝清掃車(フﾟロ式)運転

1 時間 当り
 適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0115) 運転手(一般)		人			[1]
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(M007500133) 側溝清掃車[ロータフﾟロ式] ホッパ容量 4.5~5.0m3		時間	【損料】		[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	時間			円/時間
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 側溝清掃車機種	1		フﾟロ式ホッパ容量4.5~5.0m3		
J03 側溝清掃車燃料消費量(実数)			L		
J04 側溝清掃車使用区分	1		持込		
J05 機械供用日当り運転時間(t)	1		標準		
J06 機械供用日当り運転時間(t)(実数)			時間		

第0007号 単価表
WB433610 集水桝清掃工(単独作業)

1,000 個 当り
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(WK430600) 側溝清掃車(フ ^ワ 式)運転		時間			第0006号単価表 [1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ [1] * 0.02	1	式			
合 計					
	1	個			円/個
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 側溝清掃車1個当り運転時間(実数)	0.29		0.29 h/個		
J02 側溝清掃車機種	1		フ ^ワ 式ホッパ ^ホ 容量4.5~5.0m ³		
J04 側溝清掃車燃料消費量(実数)			L		
J05 機械使用区分	1		持込		
J06 機械供用日当り運転時間(t)	1		標準		
J07 機械供用日当り運転時間(t)(実数)			時間		

第0008号 単価表
 SJ0020 管渠清掃（機械清掃工）清掃作業
 ボックスカルバート1400×1000

100 m 当り
 適用年版 T0805
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役	5.497	人			[1]
(R0102) 普通作業員	21.989	人			[1]
(K7500133) 側溝清掃車[ロータリフロッ式]ホッパ容量 4.5～5.0m	31.06	時間			第0009号単価表
(K1108007) 散水車[トラック架装型]3800L	31.06	時間			第0004号単価表
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.02	1	式			
合 計					
	1	m			整数止め切捨て 円/m

第0009号 単価表
 K7500133 側溝清掃車[ロータリー式]ホッパ容量 4.5~5.0m3

1 時間 当り
 適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0115) 運転手(一般)		人			
(Z006702002) 軽油		L			
(M007500133) 側溝清掃車[ロータリー式] ホッパ容量 4.5~5.0m3		時間	【損料】		
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	時間			円/時間
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 機械使用条件コード	0		0		
J02 岩石割増しコード	1		岩石工の割増対象にしない		
J03 機械損耗部品補正	1		普通		
J04 供用日当り運転時間	0		0 時間		
J05 交替制による割増し	1		交替制を適用しない		
J06 異常補正	0		0		
J07 基礎価格補正	1		しない		
J08 輸送補正	1		しない		
J09 運転日当り運転時間	0		0 時間		

第0010号 単価表
 SJ0030 管渠清掃（機械清掃工）清掃作業
 ボックスカルバート1200×1200

100 m 当り
 適用年版 T0805
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役	5.093	人			[1]
(R0102) 普通作業員	20.371	人			[1]
(K7500133) 側溝清掃車[ロータリフロッ式]ホッパ容量 4.5～5.0m	28.774	時間			第0009号単価表
(K1108007) 散水車[トラック架装型]3800L	28.774	時間			第0004号単価表
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.02	1	式			
合 計					
	1	m			整数止め切捨て 円/m

第0011号 単価表
 SJ0040 管渠清掃（機械清掃工）清掃作業
 ボックスカルバート600×600

100 m 当り
 適用年版 T0805
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役					[1]
	0.949	人			
(R0102) 普通作業員					[1]
	3.798	人			
(K7500133) 側溝清掃車[ロータリーワ式]ホッパ容量 4.5～5.0m					第0009号単価表
	5.507	時間			
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.02					
	1	式			
合 計					
	1	m			整数止め切捨て 円/m

第0012号 単価表
 SJ0050 側溝清掃（機械清掃工）清掃作業
 柵渠1400×1000

100 m 当り
 適用年版 T0805
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役					[1]
	4.408	人			
(R0102) 普通作業員					[1]
	15.87	人			
(K7500133) 側溝清掃車[ロータリーワ式]ホッパ容量 4.5～5.0m					第0009号単価表
	25.568	時間			
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.02					
	1	式			
合 計					
	1	m			整数止め切捨て 円/m

第0013号 単価表
 SJ0060 側溝清掃（機械清掃工）清掃作業
 柵渠1400～800×800

100 m 当り
 適用年版 T0805
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役					[1]
	3.387	人			
(R0102) 普通作業員					[1]
	12.194	人			
(K7500133) 側溝清掃車[ロータリー式]ホッパ容量 4.5～5.0m					第0009号単価表
	19.645	時間			
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.02					
	1	式			
合 計					
	1	m			整数止め切捨て 円/m

第0014号 単価表
 SJ0070 側溝清掃（機械清掃工）清掃作業
 柵渠800×800

100 m 当り
 適用年版 T0805
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役					[1]
	1.81	人			
(R0102) 普通作業員					[1]
	6.517	人			
(K7500133) 側溝清掃車[ロータリー式]ホッパ容量 4.5～5.0m					第0009号単価表
	10.5	時間			
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.02					
	1	式			
合 計					
	1	m			整数止め切捨て 円/m

第0015号 単価表
WB433410 側溝清掃(単独作業) 清掃作業

100 m 当り
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(WK430590) 側溝清掃車(フワ式)運転		時間			第0016号単価表
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.02$	1	式			
合 計					
	1	m			円/m
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 m当りの平均泥土量(q)(実数入力)	0.12		0.12	m ³ /m	
J02 側溝清掃車機種	1		フワ式ホッパ	容量4.5~5.0m ³	
J04 側溝清掃車燃料消費量(実数)			L		
J05 機械使用区分	1		持込		
J06 機械供用日当り運転時間(t)	1		標準		
J07 機械供用日当り運転時間(t)(実数)			時間		

第0016号 単価表
 WK430590 側溝清掃車(フﾟロ式)運転

1 時間 当り
 適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0115) 運転手(一般)		人			[1]
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(M007500133) 側溝清掃車[フﾟロ式] ホﾟパ容量 4.5~5.0m3		時間	【損料】		[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	時間			円/時間
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 側溝清掃車機種	1		フﾟロ式ホﾟパ容量4.5~5.0m3		
J03 側溝清掃車燃料消費量(実数)			L		
J04 機械使用区分	1		持込		
J05 機械供用日当り運転時間(t)	1		標準		
J06 機械供用日当り運転時間(t)(実数)			時間		

第0017号 単価表
WB433430 側溝蓋撤去・設置

100 枚 当り
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	枚			円/枚
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 側溝蓋1枚当り質量	2		80kgを超え120kg以下		

数量総括表

工種・種別	細別名称	規格・寸法	単位	数量	備考
準備工					
準備工	土のう積工		m ²	1	別添準備工数量計算書参照
仮設工					
交通誘導警備員	交通誘導警備員B		人日	9	別添仮設工数量計算書参照
清掃工					
排水工	散水車運転	3800L 3台 現場～処理場	日	3	別添清掃工数量計算書参照
浸透柵清掃工	集水柵清掃	浸透柵	個	5	別添清掃工数量計算書参照
ポラコン井戸清掃工	集水柵清掃	ポラコン井戸	個	3	別添清掃工数量計算書参照
管渠清掃工	管渠清掃(機械清掃工)清掃作業	ボックスカルバート 1400×1000	m	15	別添清掃工数量計算書参照
	管渠清掃(機械清掃工)清掃作業	ボックスカルバート 1200×1200	m	6	別添清掃工数量計算書参照
	管渠清掃(機械清掃工)清掃作業	ボックスカルバート 600×600	m	7	別添清掃工数量計算書参照
側溝清掃工	側溝清掃(機械清掃工)清掃作業	柵渠 1400×1000	m	20	別添清掃工数量計算書参照
	側溝清掃(機械清掃工)清掃作業	柵渠 1400～800×800	m	3	別添清掃工数量計算書参照
	側溝清掃(機械清掃工)清掃作業	柵渠 800×800	m	36	別添清掃工数量計算書参照
	側溝清掃(単独作業)清掃作業	U600	m	10	別添清掃工数量計算書参照
	側溝蓋撤去・設置作業	U600	枚	17	別添清掃工数量計算書参照
浚渫土処分工	混合汚泥処分費	建設汚泥	t	50	別添清掃工数量計算書参照

準備工数量計算書

種 別	略 図 計 算 式	数 量
準備工		
土のう積工	①沈殿槽AとBの境 $1.00 \times 0.20 = 0.20$ ②No.5 $0.80 \times 0.80 = 0.64$ ③No.9+10.00 $0.60 \times 0.60 = 0.36$ ①+②+③ $0.20 + 0.64 + 0.36$	= 1.20 m ² 合計 = 1.2 m ²

仮設工数量計算書

種 別	略 図 計 算 式	数 量
仮設工		
交通誘導警備員	交通誘導警備員計算書より	= 9.00 人日
交通誘導警備員B	9.00	合計 = 9.0 人日

清掃工数量計算書

種 別	略 図 計 算 式	数 量
排水工		
散水車運転	排水工数量計算書より	= 3.00 日
3800L×3台	3.00	合計 = 3.0 日
浸透枿清掃工		
集水枿清掃	浸透施設平面図より	= 5.00 個
浸透枿	5.00	合計 = 5.0 個
ポラコン井戸清掃工		
集水枿清掃	浸透施設平面図より	= 3.00 個
ポラコン井戸	3.00	合計 = 3.0 個
管渠清掃工		
管渠清掃(機械清掃工)清掃作業	水路平面図より	= 15.00 m
ボックスカルバート1400*1000	15.00	合計 = 15.0 m
管渠清掃(機械清掃工)清掃作業	水路平面図より	= 6.20 m
ボックスカルバート1200*1200	6.20	合計 = 6.2 m

種 別	略 図	計 算 式	数 量
管渠清掃(機械清掃工)清掃作業 ボックスカルバート600*600	水路平面図より 7.50	=	7.50 m
		合 計 =	7.5 m
側溝清掃工			
側溝清掃(機械清掃工)清掃作業 柵渠1400*1000	水路平面図より 20.60	=	20.60 m
		合 計 =	20.6 m
側溝清掃(機械清掃工)清掃作業 柵渠1400~800*800	水路平面図より 3.10	=	3.10 m
		合 計 =	3.1 m
側溝清掃(機械清掃工)清掃作業 柵渠800*800	水路平面図より 13.50 + 22.50	=	36.00 m
		合 計 =	36.0 m
側溝清掃(単独作業)清掃作業 U600	水路平面図より 10.00	=	10.00 m
		合 計 =	10.0 m
側溝蓋撤去・設置作業 U600	17.00	=	17.00 枚
		合 計 =	17.0 枚
浚渫土処分工			
混合汚泥処分費 建設汚泥	浚渫土処分工数量計算書より×汚泥比重 36.33 × 1.40	=	50.86 t
		合 計 =	50.9 t

排水工数量計算書

排水量

・浸透枳・土量、排水量計算書より

$$V = 1.55 \quad \text{m}^3$$

・ポラコン井戸・土量、排水量計算書より

$$V = 11.89 \quad \text{m}^3$$

・水路内排水量計算書より

$$V = 89.63 \quad \text{m}^3$$

・管渠(φ200VU有孔管)排水量計算、浸透施設平面図より

$$V = 0.1 \times 0.1 \times 3.14 \times (18.0 + 11.5 + 4.5 + 4.5 + 11.5 + 8.8 + 2.8 + 2.0 \times 3) = 2.12 \quad \text{m}^3$$

計	105.19 m³
----------	-----------------------------

散水車運転日数

・1日当りの排水能力

散水車(3800L×3台)…過去の実績を元に7回/日・台とする。

作業内容	時間(min)
吸込開始	0
吸込完了	19
現場出発	2
処理場到着	11
吐出開始	1
吐出完了	22
処理場出発	1
和田到着	8
時間計	64

排水は下水処理施設へ処分

$$480\text{min}/64\text{min}=7\text{回}$$

計	V=3.80×3×7=	79.8	m³/日
----------	--------------------	-------------	------------------------

・散水車運転日数

※常時流入量を考慮する。

過去実績より17:00作業終了時から翌8:00までに溜池槽と沈殿槽の水位が+80cm

$$\begin{aligned}
 V &= \{ (5\text{m} \times 8\text{m}) + (1\text{m} \times 6.1\text{m}) \} \times 0.80\text{m} = & \mathbf{46.1} & \text{m}^3 \\
 V &= 36.88\text{m}^3 \div 15\text{h} = & \mathbf{3.07} & \text{m}^3/\text{h} & \text{(1h当り流入量)} \\
 V &= 2.46\text{m}^3 \times 8\text{h} = & \mathbf{24.56} & \text{m}^3/\text{日} & \text{(日作業時間当り流入量)}
 \end{aligned}$$

排水工数量計算書

- ・1日目 浸透施設清掃
 - ⇒浸透施設の清掃を行うためには溜池槽(A)の水位を1m下げる必要がある。
 - ⇒沈殿槽(B)と溜池槽(A)との境にあるスクリーンに仮締切り(土のう設置)をする。
(夜間は高さ調節により流入水は溜池槽(A)へオーバーフローさせる。)
 - ⇒溜池槽の排水および浸透施設の清掃を実施。
 - ⇒前頁より、浸透樹・ポラコン井戸・管渠と溜池槽の深さ1m分の溜まり水を排水する。
 - ⇒溜池槽(A)の排水後に浸透樹で溜池槽からの流入を遮断するので、作業時流入量は考慮しない。

溜池槽(A) + 沈殿槽(B)(C) + 浸透樹(5基) + ポラコン井戸(3基) + 管渠(φ200)

$V = 8 \times 5 \times 1 + 6.1 \times 1 \times 1 + 1.55 + 11.89 + 2.12 =$	61.66 m³
---	----------------------------

- ・2日目 No.0からNo.5までの水路清掃
 - ⇒溜池槽の水位は前日より80cm上昇。
 - ⇒下流側仮締切り(1日目のも)は存置したままで、上流側(No.5)に土のうを設置する。
(夜間は下流側撤去、上流側は高さ調節により流入水は下流へオーバーフローさせる。)
 - ⇒沈殿槽と水路の排水および水路の清掃を実施。
 - ⇒前頁と浸透施設平面図および水路内排水量計算書より、沈殿槽・No.0～No.5までの水路内排水量および作業時流入水量を排水する。

沈殿槽(B)(C) + No.0 ~ No.5 + 作業時流入水量

$V = 6.1 \times 1 \times 1 + 14.70 + 18.74 + 2.67 + 0.56 + 19.68 =$	90.95 m³
---	----------------------------

- ・3日目 No.5～No.9+10.00の水路清掃
 - ⇒下流側仮締切り(2日目のも)は存置したままで、上流側(No.9+10.00)に土のうを設置する。
(この日で全作業が完了するので夜間は上下流とも撤去)
 - ⇒前頁および水路内排水量計算書より、水路内排水量と作業時流入水量を排水する。

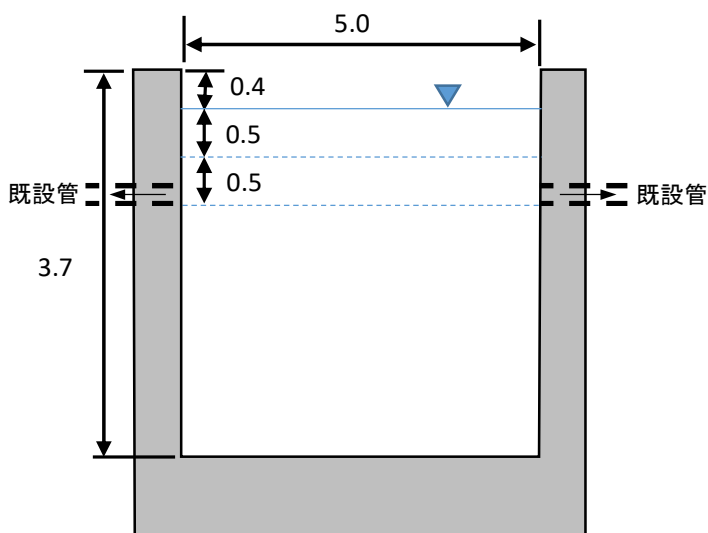
No.5～No.9+10.00 + 作業時流入水量

$V = 1.69 + 0.38 + 0.40 + 19.68 =$	53.9 m³
------------------------------------	---------------------------

計	$D = (61.66 + 62.45 + 22.15) \div 79.8 \approx$	3 日
----------	---	------------

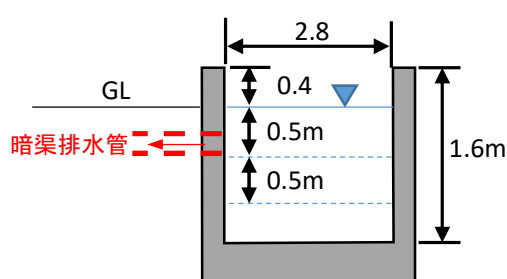
溜池槽(A) : 5.0 × 8.0 × 3.7

断面図



沈殿槽B : 1.0 × 2.8 × 1.6

断面図



浚渫土処分工数量計算書

混合汚泥処分費(産業廃棄物処分)

・浸透枺・土量、排水量計算書より

$$V = 0.09 \text{ m}^3$$

・ポラコン井戸・土量、排水量計算書より

$$V = 1.06 \text{ m}^3$$

・水路内土量計算書より

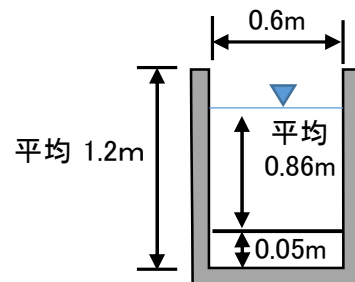
$$V = 35.18 \text{ m}^3$$

計	36.33 m ³
---	----------------------

浸透枺：土量、排水量計算書

浸透枺: 0.6 × 0.6 × 1.2 (5基)

断面図



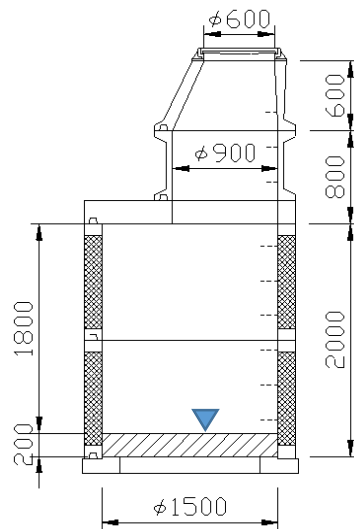
排水量計算式 $V = 0.6 \times 0.6 \times 0.86 \times 5 = 1.55 \text{ m}^3$

土量計算式 $V = 0.6 \times 0.6 \times 0.05 \times 5 = 0.09 \text{ m}^3$

ポリコン井戸：土量、排水量計算書

ポリコン井戸: 3基

断面図



排水量計算式 $V = \{[(0.30 \times 0.30 \times 3.14) + (0.45 \times 0.45 \times 3.14) \div 2 \times 0.60] + (0.45 \times 0.45 \times 3.14 \times 0.8) + (0.75 \times 0.75 \times 3.14 \times 1.8)\} \times 3 = 11.89 \text{ m}^3$

土量計算式 $V = 0.75 \times 0.75 \times 3.14 \times 0.2 \times 3 = 1.06 \text{ m}^3$

水路内排水量計算書

測 点	唐池水路(m)		水深(m)		平均水深 (m)	断面積 (m ²)	ボックスカルバート 1400*1000		柵 渠 1400*1000		ボックスカルバート 1200*1200		柵 渠 1400~800*800		柵 渠 800*800		ボックスカルバート 600*600		側 溝 U600 (蓋撤去・設置)		
	幅	高さ	下流側	上流側			延長(m)	排水量(m ³)	延長(m)	排水量(m ³)	延長(m)	排水量(m ³)	延長(m)	排水量(m ³)	延長(m)	排水量(m ³)	延長(m)	排水量(m ³)	延長(m)	排水量(m ³)	
No.0~No.1	1.40	1.00	1.00	1.00	1.00	1.40	15.00	21.00													
No.1~No.2	1.40	1.00	1.00	1.00	1.00	1.40			10.30	14.42											
No.2~No.3	1.40	1.00	1.00	1.00	1.00	1.40			10.30	14.42											
No.3~No.4	1.20	1.20	1.00	1.00	1.00	1.20					6.20	7.44									
No.4~No.5	1.40~0.80	0.80	0.80	0.80	0.88	0.97							3.10	3.01							
No.5~No.6	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.64									13.50	8.64					
No.6~No.7	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.64									10.00	6.40					
No.7~No.8	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.64									12.50	8.00					
No.8~No.9	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.36											7.50	2.70			
No.9~No.9+10.00	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.36														10.00	3.60
小 計							L=15.00m	V=21.00m ³	L=20.60m	V=28.84m ³	L=6.20m	V=7.44m ³	L=3.10m	V=3.01m ³	L=36.00m	V=23.04m ³	L=7.50m	V=2.70m ³	L=10.00m	V=3.60m ³	
施工延長(合計)	L= 15.00+ 20.60+ 6.20+ 3.10+ 36.00+ 7.50+ 10.00																			=	98.40m
排水量(合計)	V= 21.00+ 28.84+ 7.44+ 3.01+ 23.04+ 2.70+ 3.60																			=	89.63m³

水路内土量計算書

測 点	唐池水路(m)		堆積厚(m)		平均堆積厚(m)	断面積(m ²)	ボックスカルバート 1400*1000		柵 渠 1400*1000		ボックスカルバート 1200*1200		柵 渠 1400~800*800		柵 渠 800*800		ボックスカルバート 600*600		側 溝 U600 (蓋撤去・設置)		
	幅	高さ	下流側	上流側			延長(m)	土量(m ³)	延長(m)	土量(m ³)	延長(m)	土量(m ³)	延長(m)	土量(m ³)	延長(m)	土量(m ³)	延長(m)	土量(m ³)	延長(m)	土量(m ³)	
No.0~No.1	1.40	1.00	0.45	0.40	0.43	0.60	15.00	9.00													
No.1~No.2	1.40	1.00	0.40	0.40	0.40	0.56			10.30	5.77											
No.2~No.3	1.40	1.00	0.40	0.40	0.40	0.56			10.30	5.77											
No.3~No.4	1.20	1.20	0.40	0.35	0.38	0.46					6.20	2.85									
No.4~No.5	1.40~0.80	0.80	0.35	0.35	0.39	0.43							3.10	1.33							
No.5~No.6	0.80	0.80	0.35	0.30	0.33	0.26								13.50	3.51						
No.6~No.7	0.80	0.80	0.30	0.25	0.28	0.22								10.00	2.20						
No.7~No.8	0.80	0.80	0.25	0.25	0.25	0.20								12.50	2.50						
No.8~No.9	0.60	0.60	0.25	0.20	0.23	0.14										7.50	1.05				
No.9~No.9+10.00	0.60	0.60	0.20	0.20	0.20	0.12													10.00	1.20	
小 計							L=15.00m	V=9.00m ³	L=20.60m	V=11.54m ³	L=6.20m	V=2.85m ³	L=3.10m	V=1.33m ³	L=36.00m	V=8.21m ³	L=7.50m	V=1.05m ³	L=10.00m	V=1.20m ³	
施工延長(合計)	L= 15.00+ 20.60+ 6.20+ 3.10+ 36.00+ 7.50+ 10.00																			=	98.40m
清掃土量(合計)	V= 9.00+ 11.54+ 2.85+ 1.33+ 8.21+ 1.05+ 1.20																			=	35.18m³

集水桝清掃工(単独作業) 算出根拠

浸透桝清掃工 N=5基

泥土堆積厚(cm) t= 5 土量(m³/基)V= 0.018

側溝清掃車の運転時間

$$T1=N*t1*K+(l/v)+N*q*t2+t3*n= \boxed{0.496}$$

N:集水桝清掃数(個)= 5

t1:集水桝1個当り清掃時間(h/個)= $0.76V+0.019=$ $\boxed{0.03}$

K:清掃時間の補正係数= 1

l:移動距離(km)= 10 (排出先は県指定業者で片道5km、往復距離)

v:移動速度(km/h)= 30

q:集水桝1個当り清掃に要する洗浄水量(m³/個)= 0.007

t2:水1m³当り給水時間(h/m³)= 0.2

t3:1回当りの泥土排出に要する時間(h/個)= 0.18

n:泥土排出回数(回)= 泥土堆積量合計(m³)/(0.65*ホツパ容量(m³))= 0.03

集水桝清掃(単独作業) 算出根拠

ポラコン井戸清掃工 N=3基

泥土堆積厚(cm) t= 20 土量(m³/基)V= 0.353

側溝清掃車の運転時間

$$T1=N*t1*K+(l/v)+N*q*t2+t3*n= \boxed{1.269}$$

N:集水桝清掃数(個)= 3

t1:集水桝1個当り清掃時間(h/個)= $0.76V+0.019=$ $\boxed{0.29}$

K:清掃時間の補正係数= 1

l:移動距離(km)= 10 (排出先は県指定業者で片道5km、往復距離)

v:移動速度(km/h)= 30

q:集水桝1個当り清掃に要する洗浄水量(m³/個)= 0.011

t2:水1m³当り給水時間(h/m³)= 0.2

t3:1回当りの泥土排出に要する時間(h/個)= 0.18

n:泥土排出回数(回)= 泥土堆積量合計(m³)/(0.65*ホツパ容量(m³))= 0.33

管渠清掃工(機械清掃)作業 算出根拠

排水管清掃車運転時間(管渠) ボックスカルパート1400×1000 L=15.0m

$$T1=(L/A1)+L*q1*t+(l/v)= \boxed{4.659}$$

L:清掃延長(m) = 15

A1:時間当り作業量(m/h): 8.01

A1:時間当たりの作業量(表6. 1に該当する管径が無いので案分する)

管径	φ 400以上	φ 800以上	1.4*1.0	
	φ 800未満	φ 1000以下		
作業量	24	15	8.01	←「作業量×面積の平均」から案分
面積	0.44	0.79	1.40	
作業量×面積	10.56	11.85	11.21	←「作業量×面積の平均」

q1:管渠清掃1m当り使用水量(m³/m) = 1.40

t:水1m³を給水するのに要する時間(h/m³) = 0.08

l:移動距離(km) = 33.18 (給水場所は一番川で片道3km、往復距離×給水回数)

v:移動速度(km/h) = 30

排水管清掃車の給水回数

$$n=L*Q/q= 5.53$$

L:清掃延長(m) = 15

Q:清掃1m当り使用水量(m³/m) = 1.40

q:排水管清掃車のタンク容量(m³) = 3.80

世話役

$$1*T1/T*1/L*100= \boxed{5.497}$$

T = 5.65 h/日

普通作業員

$$4*T1/T*1/L*100= \boxed{21.989}$$

T = 5.65 h/日

清掃車・散水車運転

$$T1/L*100= \boxed{31.060}$$

管渠清掃工(機械清掃)作業 算出根拠

排水管清掃車運転時間(管渠) ボックスカルパート1200×1200 L=6.2m

$T1=(L/A1)+L*q1*t+(l/v)=$ 1.784

L:清掃延長(m) = 6.2

A1:時間当り作業量(m/h) = 7.78

A1:時間当たりの作業量(表6. 1に該当する管径が無いので案分する)

管径	φ 400以上	φ 800以上	1.2*1.2	
	φ 800未満	φ 1000以下		
作業量	24	15	7.78	←「作業量×面積の平均」から案分
面積	0.44	0.79	1.44	
作業量×面積	10.56	11.85	11.21	←「作業量×面積の平均」

q1:管渠清掃1m当り使用水量(m³/m) = 1.20

t:水1m³を給水するのに要する時間(h/m³) = 0.08

l:移動距離(km) = 11.76 (給水場所は一番川で片道3km、往復距離×給水回数)

v:移動速度(km/h) = 30

排水管清掃車の給水回数

$n=L*Q/q=$ 1.96

L:清掃延長(m) = 6.2

Q:清掃1m当り使用水量(m³/m) = 1.20

q:排水管清掃車のタンク容量(m³) = 3.80

世話役

$1*T1/T*1/L*100=$ 5.093

T = 5.65 h/日

普通作業員

$4*T1/T*1/L*100=$ 20.371

T = 5.65 h/日

清掃車運転

$T1/L*100=$ 28.774

管渠清掃工(機械清掃)作業 算出根拠

排水管清掃車運転時間(管渠) ボックスカルパート600×600 L=7.5m

$$T1=(L/A1)+L*q1*t+(l/v)= \boxed{0.413}$$

L:清掃延長(m) = 7.5

A1:時間当り作業量(m/h) = 24

q1:管渠清掃1m当り使用水量(m³/m) = 0.10

t:水1m³を給水するのに要する時間(h/m³) = 0.08

l:移動距離(km) = 1.20 (給水場所は一番川で片道3km、往復距離×給水回数)

v:移動速度(km/h) = 30

排水管清掃車の給水回数

$$n=L*Q/q= 0.20$$

L:清掃延長(m) = 7.5

Q:清掃1m当り使用水量(m³/m) = 0.10

q:排水管清掃車のタンク容量(m³) = 3.80

世話役

$$1*T1/T*1/L*100= \boxed{0.949}$$

T = 5.8 h/日

普通作業員

$$4*T1/T*1/L*100= \boxed{3.798}$$

T = 5.8 h/日

清掃車運転

$$T1/L*100= \boxed{5.507}$$

側溝清掃工(機械清掃)作業 算出根拠

排水管清掃車運転時間(側溝) 柵渠1400×1000 L=20.6m

$$T1=(q*L/A)+(l/v)= \boxed{5.267}$$

L:清掃延長(m) = 20.6

A:時間当り作業量(m/h) = 2.80

q:1m当り平均泥土量(m³/m) = 0.56

l:移動距離(km) = 34.40 (排出先は県指定業者で片道5km、往復距離×排出回数)

v:移動速度(km/h) = 30

側溝清掃車による泥土の排出回数

$$n=(q*L)/(Q*K)= 3.44$$

L:清掃延長(m) = 20.6

q:側溝1m当り平均泥土量(m³/m) = 0.56

Q:ホツパ容量(m³) = 5.0

K:ホツパ係数 = 0.67

世話役

$$1*T1/T*1/L*100= \boxed{4.408}$$

T= 5.8 h/日

普通作業員

$$3.6*T1/T*1/L*100= \boxed{15.870}$$

T= 5.8 h/日

清掃車運転

$$T1/L*100= \boxed{25.568}$$

側溝清掃工(機械清掃)作業 算出根拠

排水管清掃車運転時間(側溝) 柵渠1400~800×800 L=3.1m

$$T1=(q*L/A)+(l/v)= \boxed{0.609}$$

$$L:\text{清掃延長(m)} = 3.1$$

$$A:\text{時間当り作業量(m}^3/\text{h)} = 2.80$$

$$q:\text{1m当り平均泥土量(m}^3/\text{m)} = 0.43$$

$$l:\text{移動距離(km)} = 4.00 \quad (\text{排出先は県指定業者で片道5km、往復距離} \times \text{排出回数})$$

$$v:\text{移動速度(km/h)} = 30$$

側溝清掃車による泥土の排出回数

$$n=(q*L)/(Q*K) = 0.40$$

$$L:\text{清掃延長(m)} = 3.1$$

$$q:\text{側溝1m当り平均泥土量(m}^3/\text{m)} = 0.43$$

$$Q:\text{ホツパ容量(m}^3) = 5.0$$

$$K:\text{ホツパ係数} = 0.67$$

世話役

$$1*T1/T*1/L*100= \boxed{3.387}$$

$$T = 5.8 \quad \text{h/日}$$

普通作業員

$$3.6*T1/T*1/L*100= \boxed{12.194}$$

$$T = 5.8 \quad \text{h/日}$$

清掃車運転

$$T1/L*100= \boxed{19.645}$$

側溝清掃工(機械清掃)作業 算出根拠

排水管清掃車運転時間(側溝) 柵渠800×800 L=36.0m

$$T1=(q*L/A)+(l/v)= \boxed{3.780}$$

L:清掃延長(m) = 36

A:時間当り作業量(m/h) = 2.80

q:1m当り平均泥土量(m³/m) = 0.23

l:移動距離(km) = 24.70 (排出先は県指定業者で片道5km、往復距離×排出回数)

v:移動速度(km/h) = 30

側溝清掃車による泥土の排出回数

$$n=(q*L)/(Q*K)= 2.47$$

L:清掃延長(m) = 36.0

q:側溝1m当り平均泥土量(m³/m) = 0.23

Q:ホツパ容量(m³) = 5.0

K:ホツパ係数 = 0.67

世話役

$$1*T1/T*1/L*100= \boxed{1.810}$$

T= 5.8 h/日

普通作業員

$$3.6*T1/T*1/L*100= \boxed{6.517}$$

T= 5.8 h/日

清掃車運転

$$T1/L*100= \boxed{10.500}$$

側溝清掃(単独作業)清掃作業 算出根拠

排水管清掃車運転時間(側溝) U型側溝(蓋付き) 600×600 L=10.0m

$$T1=(q*L/A)+(l/v)= \boxed{0.549}$$

$$L:\text{清掃延長(m)} = 10$$

$$A:\text{時間当り作業量(m/h)} = 2.80$$

$$q:\text{1m当り平均泥土量(m}^3/\text{m)} = \boxed{0.12}$$

$$l:\text{移動距離(km)} = 3.60 \quad (\text{排出先は県指定業者で片道5km、往復距離} \times \text{排出回数})$$

$$v:\text{移動速度(km/h)} = 30$$

側溝清掃車による泥土の排出回数

$$n=(q*L)/(Q*K) = 0.36$$

$$L:\text{清掃延長(m)} = 10.0$$

$$q:\text{側溝1m当り平均泥土量(m}^3/\text{m)} = 0.12$$

$$Q:\text{ホツパ容量(m}^3) = 5.0$$

$$K:\text{ホツパ係数} = 0.67$$

交通誘導警備員数量計算書

交通誘導警備員B

・排水工数量計算書より

散水車運転日数
 $D = 3.0$ 日より $N = 3.0$ 人日 (1日あたり1人)

・排水構造物清掃工より(清掃車運転時間計算書参照)

管渠清掃工

$h = \frac{1400 \times 1000}{4.659} + \frac{1200 \times 1200}{1.784} + \frac{600 \times 600}{0.413} = 6.856$

側溝清掃工

$h = \frac{1400 \times 1000}{5.267} + \frac{1400 \sim 800 \times 800}{0.609} + \frac{800 \times 800}{3.780} + \frac{600 \times 600}{0.549}$
 $= 10.205$

$6.856 + 10.205 = 17.061$ 時間より
 $N = 6.0$ 人日 (1日あたり2人)

計	$D =$	3.0人日	+	6.0人日	=	9.0人日
---	-------	-------	---	-------	---	-------

特記仕様書

本仕様書は、令和8年度 和田唐池浸透施設等清掃業務委託に適用するものとする。

1. 受託者は、速やかに業務計画書を作成し、監督員に提出すること。
2. 本業務において、この特記仕様書によらないものについては「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」を遵守すること。
なお、土木工事共通仕様書は令和6年11月、土木工事施工管理基準は令和4年4月に改正となったため注意すること。
3. 受託者が実施する測量、設計等に要する費用は準備費、技術管理費及び現場管理費に含まれているので別途計上はしない。
4. 受託者は、周辺住民に与える建設公害等を極力軽減するように配慮した上で資機材、建設発生土等の運搬経路、資材の仮置場、業務区域を区分する保安施設等の設置箇所、業務期間、施工方法等について十分に検討を行い、周辺住民に周知を図るものとする。
5. 受託者は、本業務実施にあたり公道、公共用地及び民有地等を利用して工事を行う場合は各所有者及び管理者の承諾を得なければならない。
また、上記の用地を利用した場合、原則として業務完了後に受託者の責任を持って現況に復旧すること。
6. 建設廃材処理については、所定の様式に必要事項を漏れなく記載し提出すること。
7. 作業終了時または著しく市道、道路施設を汚損した場合は速やかに道路清掃を行うこと。
8. 排水工について、散水車により吸引した排水は下水処理施設へ搬出する。浚渫土は産業廃棄物として適切に処理すること。なお、搬出は決められた経路を厳守すると共に、第三者の通行には十分注意すること。
9. 本仕様書に記載なき事項、その他の疑義が生じた場合はその都度、市監督者と協議し、その指示に従うこと。
10. 本業務における単価については、下記の業者から見積りを徴収して採用している。

混合汚泥処分費（産業廃棄物処分）

・ 田中石材土木株式会社 TEL：046-856-1931

浸透施設平面図



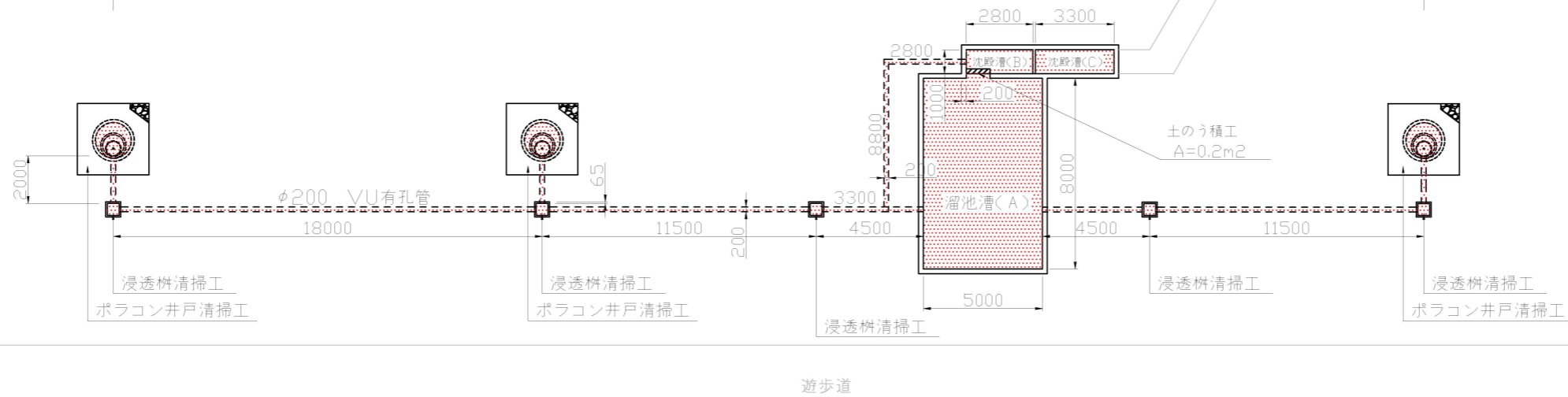
← 長浜海岸

浸透柵清掃工 N=5個 ポラコン井戸清掃工 N=3個

市道12号

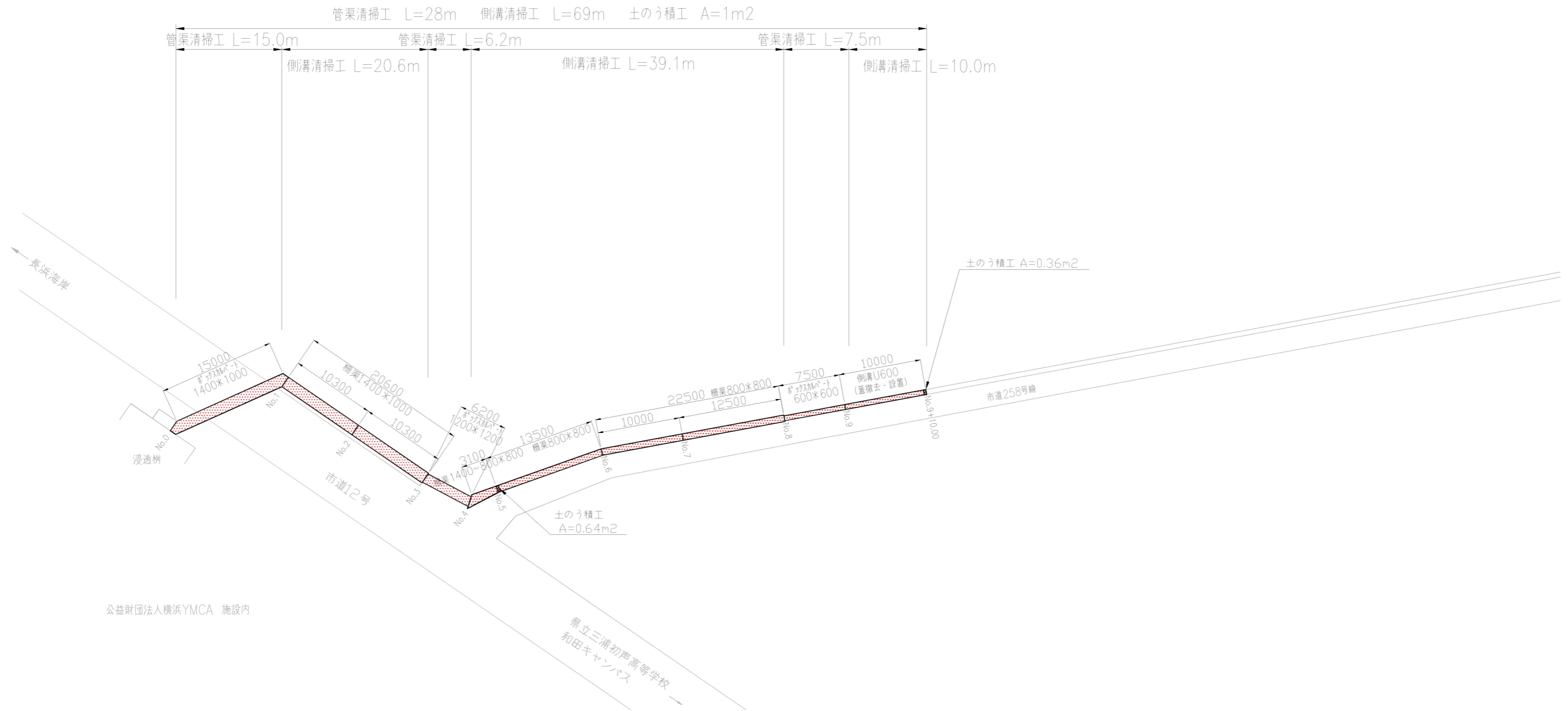
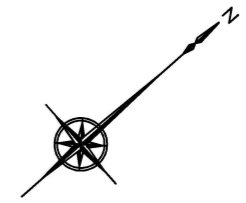
県立三浦初声高等学校
和田キャンパス

公益財団法人横浜YMCA 施設内



業務名称	令和8年度 和田唐池浸透施設等清掃業務委託		
業務箇所	三浦市初声町和田地内		
図面名称	浸透施設平面図		
図面番号	1/2	縮尺	1/250
三浦市都市環境部土木課			

水路平面図



業務名称	令和8年度 和田唐池浸透施設等清掃業務委託		
業務箇所	三浦市初声町和田地内		
図面名称	水路平面図		
図面番号	2/2	縮尺	1/500
三浦市都市環境部土木課			